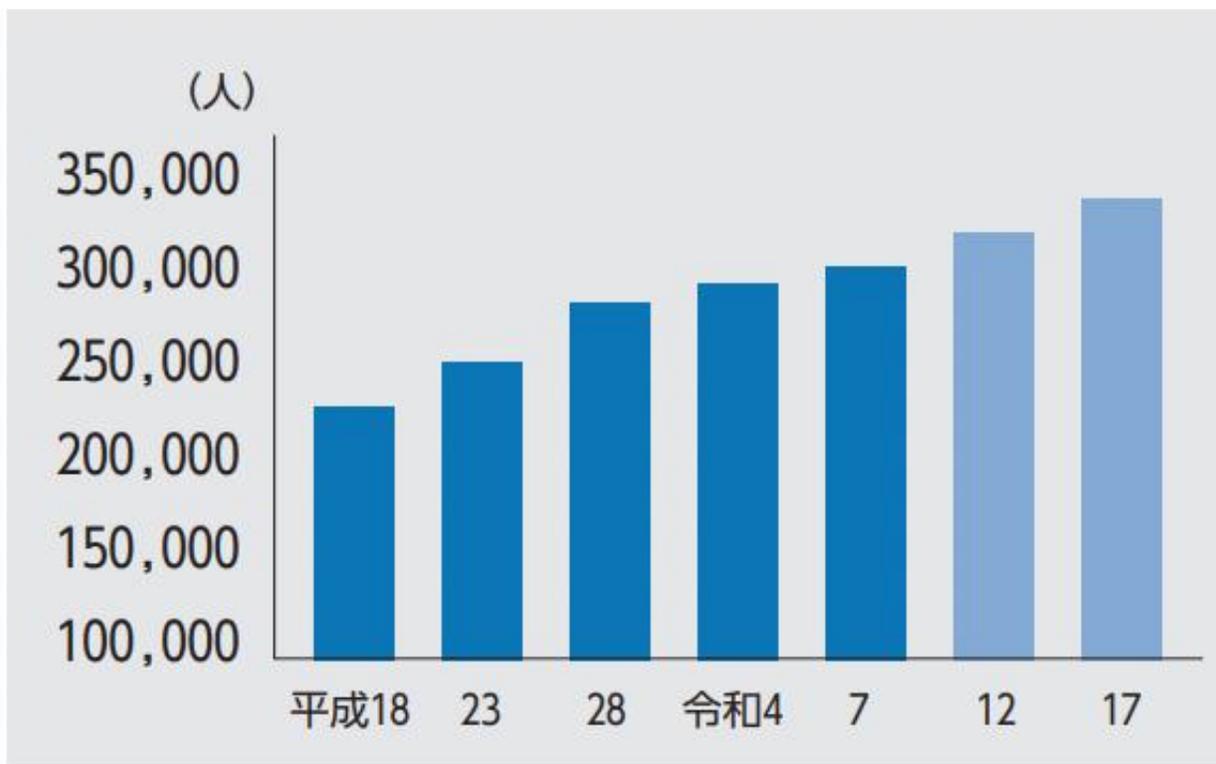


資料1

人口増による区民ニーズの増加



区の人口は、総合支所の受け付け業務を拡大した平成18年度の約17万人から令和7年度の約27万人に、約10万人増加しています。さらに、港区人口将来予測(令和7年度改定)によると、令和15年度には30万人を超える見込みです。加えて、社会情勢の変化に伴い、区民ニーズの増加や社会課題の複雑化が想定されます。

資料2

母になるなら、流山市。父になるなら、流山市。 [View more](#) — ⊕

母、父たちが作りだす、ながれやまのライフスタイル。



市民モデルインタビュー①「尊敬できるママ友のおかげで自分の夢ができた」



市民モデルインタビュー②「子どもたちのために、流山をいいまちにしたい」

在宅高齢者への飲料配達を通じた啓発・見守り

75歳以上の区民にペットボトル飲料を配達して啓発するとともに、配達員が健康状態の聞き取りを行い、熱中症の危険性があると判断した場合は、ふれあい相談員などの訪問につなげます。

対 象 75歳以上の区民（特別養護老人ホーム等の施設入所者を除く）

配達内容 1人当たり 500ml 飲料6本

配達時期 令和8年6月～8月（1人1回）



ふれあい相談員による体水分測定と啓発

ふれあい相談員が、体の水分量を計測する「体水分計」を持って高齢者宅を訪問し、体水分の測定値を参考にしながら、適切な水分補給を促します。

気づきにくい脱水を防止！

対 象 75歳以上のひとり暮らし等の区民



資料4

児童の通学時の安全及び始業前の居場所を確保するため、全区立小学校でモーニングスクールを実施するとともに、モーニングスクールにおいて朝の読書活動を実施します。

一	56,785 千円
国	- 千円
都	9,593 千円
他	20,000 千円

モーニングスクールの内容

【実施内容】読書活動の場を確保し、読み聞かせや本の紹介など児童の読書を支援します。

【対象】朝、保護者の出勤後に自宅で一人になってしまう小学1年生（原則）

※ 特別支援学級の児童から希望があった場合は、スクールカーの手配やスクールボランティアの配置により対応します。

【受入時間】午前7時30分～登校開始時刻

【実施場所】学校図書館（原則）

【配置人材】学校司書及び学校図書館支援員



POINT① 「小1の壁」の解消に向け、**児童の朝の居場所を提供します！**

POINT② 1年生から読書に親しむことで、**読書が好きな児童を育みます！**

POINT③ 学校図書館のスタッフが対応することで、**保護者の安心感につなげます！**



資料5 港区内学童クラブ 学年別入籍状況一覧（令和8年1月1日現在）

学年	在籍数	構成比	在籍数	構成比	在籍数	構成比
	全体		児童館		放課GO→	
1年生	887名	26.6%	481人	21.8%	406人	36.1%
2年生	904名	27.1%	559人	25.4%	345人	30.6%
3年生	759名	22.8%	538人	24.4%	221人	19.6%
4年生	487名	14.6%	381人	17.3%	106人	9.4%
5年生	214名	6.4%	184人	8.3%	30人	2.7%
6年生	80名	2.4%	62人	2.8%	18人	1.6%
合計	3,331名	100%	2,205人	100%	1,126人	100%

- ・利用者数は2年生→1年生→3年生の順番
- ・1, 2年生で全体の半分以上（53.7%）を占める
- ・3, 4年生から利用者が減少する

港区国際理解教育プログラムに基づいた語学学習の充実 概要

令和8年度からの充実の内容

全区立小中学校が参加！TOKYO GLOBAL GATEWAY（TGG）での校外学習

対 象 全区立小学校の6年生・全区立中学校の2年生

小学校6年生は学んできた英語を発揮する集大成の場、中学校2年生は海外修学旅行の事前学習の場とします。

**TOKYO GLOBAL GATEWAY
(TGG)**

東京都教育委員会と株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY が提供する、江東区にある体験型英語学習施設。海外をイメージした施設内でグローバルな世界を体感しながら英語が学習できます。

中学1年生から対象！オンライン英会話教室の拡充

対 象 区立中学校1年生～3年生
*任意参加

実施頻度 週1回程度

- ・グループレッスン
- ・マンツーマンレッスン
- ・アプリケーションを活用した学習



TGG GREEN SPRINGSで充実した英語体験を！

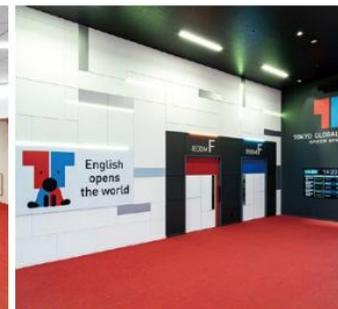
環境 デジタル技術とリアルを組み合わせた施設

東京・立川駅から徒歩8分の好立地。国営昭和記念公園に隣接する自然豊かな未来型文化都市空間「GREEN SPRINGS」内にあります。館内デザインは最新のデジタル技術とリアルに作り込まれた造形を組み合わせ、日常を離れて遠い外国にいるかのような雰囲気を演出。児童・生徒の英語の発話意欲をかきたてます。E1とW2の2棟に分かれ、40名定員の部屋を8つ用意。同時時間帯に体験できる人数は最大320名となります。

(E1とW2の位置関係は巻末「アクセス」の地図参照)



▲ E1-4Fのエントランス



▲ W2-3Fのエントランス



▲エアプレーン



▲レストラン



▲スーベニアショップ



▲グローバルマーケット

プログラム 英語を話したくなる仕掛けが満載

TGG GREEN SPRINGS 自慢のプログラムは2つのシーンから構成。外国を模した擬似空間で日常英会話にチャレンジする「アトラクションシーン」と、さまざまなテーマについて英語で学ぶ「アクティブイマージョンシーン」です。最初はなかなか話せなくても、気がつくと自然に発話ができるように工夫しています。TGG GREEN SPRINGS オリジナルとして、多摩地域の豊かな森林や水について英語で考えるプログラムも新たに開発いたしました（プログラムについてはP.6～13参照）。

イングリッシュスピーカー 世界各国から精鋭が集結！

TGG GREEN SPRINGSは、高度なトレーニングを積んだ英語講師（イングリッシュスピーカー＝ES）を揃えています。ESは児童・生徒8名につき1名配置され、個々の英語レベルに合わせて、無理なくかつ最大限に英語の発話を引き出していきます。世界中から来日した多様な文化と価値観を持つESとの交流は、英語体験のみならず、児童・生徒の視野を広げ、グローバル社会に羽ばたくきっかけになると考えます。



▲ ES とのやり取り
*写真はすべてイメージ



▲チームビルディング



e スポーツ (Electronic Sports) とは…

コンピュータゲームやビデオゲームを用いて、競技性をもって行われる対戦・競争型のスポーツで、プロ選手による大規模な大会が世界で開催されています。



区立中学校における e スポーツ部の新設 概要

- ゲームに特化した高性能の機材を導入し、環境を整えます。
- プロの講師がスポット的に指導にあたる予定です。

e スポーツ部新設校	青山中学校、お台場学園港陽中学校
導入設備	ゲーミングPCおよび周辺機器一式 ゲーミングデスク、ゲーミングチェア
活動回数	週3回程度



令和8年度以降の公教育無償化の内容

令和7年度～



+

令和8年度～



区立小中学校の移動教室、夏季学園、校外学習の無償化 概要

対象経費 借上げバス費用、宿泊費用、施設入場料、体験学習費等

対象事業

各事業の保護者負担を所得制限なく **無償化!**

小学校移動教室：6年生 2泊3日
小田原・箱根周辺（歴史・文化学習等）

中学校移動教室：1年生 2泊3日
長野県野辺山周辺（自然体験等）

小学校夏季学園：5年生 1泊2日
箱根・河口湖等（ハイキング等）

中学校夏季学園：2年生 2泊3日
全国地域との関係性、平和・文化、自然体験等の教育的価値に基づき各学校で実施

小中学校校外学習：区立小中学校の全学年
民間施設における体験的な学習など各学校で実施



資料11

防災用品支給による防災意識の啓発 概要

支給内容 1世帯につき5,000円相当分の防災用品をカタログから選択してもらい支給します。

対象 基準日時点で港区に住民登録のある世帯

申請時期 令和8年9月下旬～11月
*申請受付後、順次発送予定

防災用品を選ぶ過程を通じ防災意識を啓発！



家具転倒防止器具の助成 概要

世帯人数のポイント数に応じた器具を、申請に基づき支給します。

対象 港区に住民登録のある世帯



令和8年度
見直しの内容

- 過去の申請履歴をリセット
*ただしリセット後の助成も1世帯1回のみ
- ポイント数の拡充
- 助成対象用品のラインナップを一部変更

世帯人数	令和7年度	令和8年度
ひとり及び2人世帯	150ポイント	200ポイント
3人以上世帯	195ポイント	250ポイント

自力で器具等を取り付けることが困難な世帯には、取り付けを支援します。



資料12

課題：町会・自治会等が直面する担い手の高齢化と参加者の減少

原因：若者に「情報の壁」「心理の壁」「価値の壁」

提言：港区コミュニティアクション&共創ハブ（港区公式まちづくりインカレサークル）の創設

港区コミュニティアクション&共創ハブ （港区公式まちづくりインカレサークル）の創設

新陳代謝と実効性の担保。
若者に対するの広報宣伝・新規人材確保・プロジェクト等への若者人材の創出。
OB・OGとの連携。

港区在住(転出者含む)・港区在勤・港区との協定締結
結校在校、いずれかを満たす18-24歳までの若者

継続性の担保のための施策

専門コーディネーター

町会・自治会等によるプロジェクトの組成・管理
国の「地域活性化起業人制度」や「地域おこし協力隊制度」を積極的に活用し、プロジェクトマネジメント等の専門スキルを持つ常勤コーディネーターを配置

多角的な資金調達

港区予算からの拠出に加え、国の交付金（地方大学・地域産業創生交付金など）、企業協賛、民間財団からの寄付、町会からの拠出、そしてふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディング（GCF）など、多様な資金源を確保

40歳以下で構成する 港区次世代コミュニティ円卓会議の設置

港区コミュニティアクション&共創ハブを含む各戦略の進捗管理、セクター間の連携促進、そして社会の変化に応じた制度の継続的なアップデートを実施

公募で選ばれたU24

地元企業代表

行政代表

NPO代表

町会代表

青少年委員代表

PTA代表

若者への明確な価値提供

同年代との交流

他の学校・社会人を問わず港区に関わる同年代との繋がりを提供

学業上の単位認定

参加大学と連携し、プロジェクトを授業として設計し、単位取得を可能

キャリア上のクレジット（ガクチカ：就活用アピールポイントの提供）

課題解決能力、プロジェクトマネジメント能力、世代を超えたコミュニケーション能力など、就職活動でアピールできる実践的な経験を提供

経済的インセンティブの提供

責任の重い役割には有償の活動費や謝礼を支給

公式認定証の発行

港区と所属学校が連名で「港区コミュニティ共創クリエーター認定証」を授与

若者を惹きつける「参加のハシゴ」戦略

港区地域デザイン・ インターンシップ（有償）

地域活動をキャリア形成やスキルアップに直結する「実践的な学びの場」として再構築

テーマ別プロジェクト

DX支援、イベント革新、地域資源マッピング、社会的支援、防災対策など、若者の“好き”や“得意”を活かせるプロジェクトを創出

ギグ・ボランティア

「祭り当日の2時間だけ写真撮影」など、超短期・単発で気軽に参加できる機会を提供

町会・自治会等による
若者参加プロジェクトの提供

資料13

「MINATO DOG&CAT 宣言」は、区の動物政策監^(※)の監修のもと、飼い犬登録、狂犬病予防接種、ペットマナーの意識向上、災害時の備えなど、犬と猫の飼い主が行うべきことを啓発する取組です。

宣言の主旨に賛同・署名いただいた飼い主の犬、猫を、「MINATO DOG」「MINATO CAT」として登録し、プレートと登録手帳を交付します。

宣言の普及により、人とペットが安心して暮らせる共生社会の実現を目指します。

(※) 港区は23区で唯一、獣医師資格を有する「動物政策監」を保健所に配置しています。



MINATO DOG&CAT 宣言 概要

対象者	犬、猫を飼っている港区在住者	*宣言の対象となる犬、猫はマイクロチップ装着等の条件があります。
事業開始	令和8年10月	
宣言の内容	飼い犬登録と狂犬病予防注射を実施、マイクロチップの装着、終生飼養への責任、周辺の住宅や環境への配慮、ペットのための防災用品の準備など、全10か条	

宣言の普及により目指す効果

- 飼い犬の登録・狂犬病予防注射の徹底
- 身元確認のためのマイクロチップ装着の普及
- 飼い主の終生飼養の意識の向上、飼育放棄の未然防止
- 犬・猫の飼い主のマナー向上
- 災害時の備えの強化

「MINATO DOG&CAT 宣言」に賛同・署名いただいた飼い主に、500円相当の「みなトク PAY ポイント」をプレゼント！



資料14



第2 歴史的建造物等を守るための仕組みづくりに関する提言

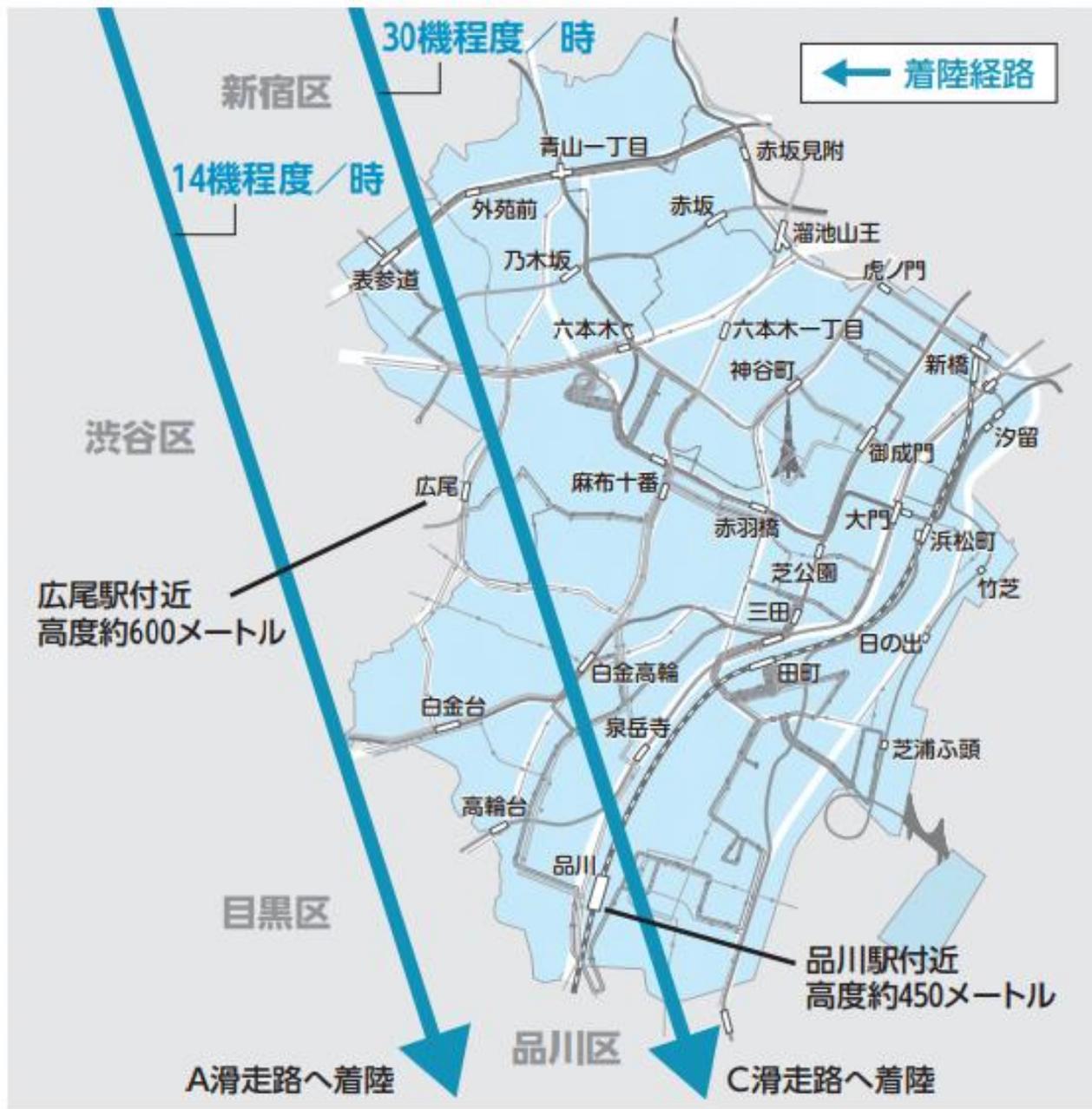
1 提言の概要

港区の歴史的建造物等の現状や課題に関する分析のもと、港区の歴史的建造物等の特徴や魅力を生かすとともに、所有者に寄り添いながら、歴史的建造物等の保存の課題を解決するため、「歴史的建造物等を守るための仕組みづくり」について、以下のとおり提言します。

また、短期的に実現するべき取組や仕組みに【重点】を記載しています。※新たな仕組みを構築するに当たって、景観条例及び景観計画を改定する必要があるものもあります。



資料16



南風時の新飛行経路(案)港区拡大図(午後3時～7時)

資料17 預金・債券による運用実績

年度	預金		債券		利子収入
	運用額	平均利回り	運用額	平均利回り	
R5 2023年度	1242億	0.038%	900億	0.171%	約1.85億
R6 2024年度	1463億	0.152%	927億	0.271%	約3.47億
R7 2025年度		0.658%		0.507%	約12億
R8 2026年度		0.861% <small>(見込み)</small>		0.848% <small>(見込み)</small>	約25億 <small>(見込み)</small>



令和9年4月に向けて
組織改革を行います。

将来に向けた持続可能な区役所へ

どんな問題が起きているの？

複雑なケース等への対応



高い専門性を要する複雑なケースや相談実績の少ないケースの場合、総合支所ごとに回答内容が異なる、総合支所だけでは対応が難しい等の課題がありました。

ひっ迫した執務スペース



本庁舎の執務スペースに余裕がなく、新しい事業の実施や事業を拡大するためのスペース確保が困難、という課題がありました。

区民サービスはどう変わる？

問い合わせ

企画課企画担当 ☎3578-2089

組織改革によって現在の課題を解決し、さらなる区民サービスの向上をめざします。

スキルやノウハウの継承



組織・人員配置を、知識やスキル、ノウハウを効率的に継承できる体制に見直すことで、若手職員の育成や職員の専門性を向上します。

高い専門性

判断・対応の統一



これまで総合支所ごとに行っていた判断、意思決定を本庁に一元化することで、総合支所での対応の統一を図ります。

統一的な対応

新たな執務スペース確保



民間ビルの借用により新たな執務スペースを確保することで、変化する区民ニーズや課題に対して、的確な対応を可能にします。

新たな課題に対応

令和9年4月に向けて
組織改革を行います。

将来に向けた持続可能な区役所へ

どんな問題が起きているの？

複雑なケース等への対応



高い専門性を要する複雑なケースや相談実績の少ないケースの場合、総合支所ごとに業務内容が異なる。総合支所だけでは対応が難しい等の課題がありました。

ひっ迫した執務スペース



本庁舎の執務スペースに余裕がなく、新しい事業の実施や事業を拡大するためのスペース確保が困難、という課題がありました。

区民サービスはどう変わる？

区民サービス課
企画課企画係 03-3578-2089

組織改革によって現在の課題を解決し、さらなる区民サービスの向上をめざします。

スキルやノウハウの継承



組織・人員配置を、知識やスキル、ノウハウを効果的に継承できる体制に構築することで、若手職員の育成や職員の専門性を向上します。

高い専門性

判断・対応の統一



これまで総合支所ごとに行っていた判断、意思決定を本庁に一元化することで、総合支所での対応の統一を図ります。

統一的な対応

新たな執務スペース確保

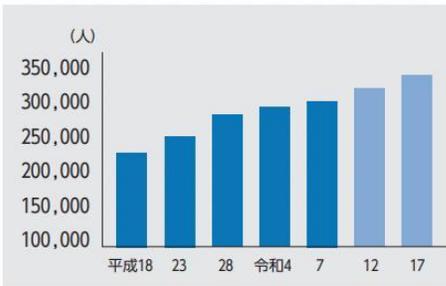


民間ビル等の借用に より新たな執務スペースを確保することで、実化する区民ニーズや課題に対して、的確な対応を可能にします。

新たな課題に対応

なぜ組織改革を行うの？

人口増による区民ニーズの増加



区の人口は、総合支所の受け付け業務を拡大した平成18年度の約17万人から令和7年度の約27万人に、**約10万人増加**しています。さらに、港区人口将来予測(令和7年度改定)によると、**令和15年度には30万人を超える見込み**です。加えて、社会情勢の変化に伴い、区民ニーズの増加や社会課題の複雑化が想定されます。

区役所の執務スペースのひっ迫

区に雇用される職員(常勤職員※1・非常勤職員)の数は、平成18年度の2,822人※2 から令和7年度の3,449人に、約600人増加しています。本庁舎の職員一人当たりの執務スペースは国の法令で定める最低基準レベルであり、余剰執務スペースがありません。そのため、新たな区民ニーズが発生した場合、新規事業を担う組織・職員を配置する執務スペースを確保することができず、迅速な解決に支障をきたします。

新たな区民ニーズが
発生

執務スペースに
余裕がない

迅速な解決に
支障

※1 定数・期限付定数・暫定配置の総数です。

※2 非常勤職員および臨時職員の推計人数350人を含みます。